

事務事業名		交通安全施設整備事業		所属部	総務部	所属課	総務課			
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり<<定住環境>>		所属G	選挙・法務G	課長名	稲田和久			
	施策名	(14)交通安全の推進		担当者名	茂富加奈子	電話番号	0854-40-1021 (内線) 3543			
	目的対象	市民	意図	交通事故に遭わない、起こさない。						
	基本事業名	(041)交通安全施設の整備		予算科目	会計	款	大事業	大事業名		
目的対象	市民	意図	交通事故を防ぐことができるようにする。				中事業	交通安全施設整備事業		
				0	1	1	0	0	3	交通安全施設整備事業
				0	5	4	5	0	1	交通安全施設整備事業

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間	
<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
ガードレール、カーブミラー、区画線など道路環境の維持・改善を行う事業である。交通安全対策特別交付金を基に、総務課で一括予算化し、年度当初に各総合センター(事業管理課)へ所管替えし、地域の要望に合わせた予算執行を行っている。	

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	24年度実績(24年度に行った主な活動) ・予算確保、配分 ・打合せ会の開催と現場確認 ・通学路点検に伴う現地確認等	25年度計画(25年度に計画する主な活動) ・予算確保、配分(所管替え) ・地域要望等の現場確認・関係機関との調整				
② 活動指標		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
ア	打合せ会と現場確認	回	8	8	23	10
イ	カーブミラー設置箇所数	箇所	16	21	21	20
ウ	ガードレール・柵設置箇所数	箇所	16	16	8	15
エ	区画線等設置箇所数	箇所	17	17	27	15

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	雲南市民		ア	人口	人	41,917	41,159	40,548	40,440
			イ						
			ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
交通安全施設を整備し、道路の交通安全環境を向上させる。		ア	交通事故発生件数	件	1,180	1,132	1,098	1,000	
		イ	交通事故による死傷者数(暦年)(死者数・負傷者数)	人	0.65	1.86	3.109	0.80	
		ウ							

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳(24年度決算)		② コストの推移		単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
事業費	交通安全対策特別交付金を基に、総務課で一括予算化し、年度当初に各総合センター事業管理課に予算を振り分け執行する。	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	5,400	5,400	5,350	5,400	
	事業費計(A)	千円	5,400	5,400	5,350	5,400		
人件費		正規職員従事人数	人	1	2	2		
		延べ業務時間	時間	8	93	349		
		人件費計(B)	千円	31	367	1,367		
トータルコスト(A)+(B)		千円	5,431	5,767	6,717			

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
交通安全施設整備の設置・改善要望(陳情、地域要望、交安協・警察署への要望等)は多い。24年度はほとんどが大東町からであった。しかしながら交付金は年々減少しており、この事業の今後の予算削減は避けられない。	交付金は年々激減しているが、市の予算としては同額を維持している。	地域要望としては、横断歩道設置や停止線設置等の要望が多く寄せられる。また、吉田町まで高速道路が開通したことにより、IC周辺の歩道整備などの要望も出ているが、この事業の予算では対応できない。地域要望の多い大東町では、予算が全く不足年度を超えての設置になっている。

事務事業名	交通安全施設整備事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合 ⇒
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合 ⇒
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合 ⇒
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 限られた予算であるが計画的に危険箇所を整備することにより事故発生件数の抑制が見込まれる。 市道整備事業と連携調整を深めることで更に効率化が高まる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 交通安全施設の整備・更新を怠ると、交通安全に支障が発生する。また、交通安全対策交付金は一般財源扱いとなっているが、用途について追跡調査があり、事業を廃止することはできない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合 ⇒ (具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由 交通安全施設に限った交付金であり、単独でできる整備事業はこれだけである。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 地域要望が多く、削減は困難である。実際、交付金だけではまかないきれしていない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 現状では、各総合センターへ予算配分し、それぞれで執行しているが、総合センター縮小後は一括管理により効率的に執行する。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 地域要望の状況や、実績によって予算配分しているが、市全体の計画としてのバランスやレベルは精査しきれしていない。

評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果	② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	京都亀岡市の事故等を受けて、教育委員会で通学路の一斉点検が行われ、現地検討会や打合せ等を行った。 総務課で年度当初に一括予算化しているが、総合センターへ予算を振り分けた後は、各総合センターの裁量で適切に整備されている。配分の仕方や、総合センター縮小後の一括管理の仕方など検討の必要がある。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
・市道関連の事業と連携を取り対応していく。 ・総合センター(事業管理課)縮小後の扱いとともに、市全体でのバランスのとれた事業が実施できるよう検討していく。																								